

## 平成 21 年度人工林整備状況調査の結果概要

## ○調査概要

水源環境保全地域内の国有林を除く全ての人工林について、約 4 万 2 千 5 百箇所を踏査し、整備状況、光環境、下層植生、土壌状況の状況を、それぞれ目視により A から D までのランクに区分する方法で行うとともに、それらの総合評価についても、A から D までのランクに区分した。

## ○結果概要等

総合評価については、B ランク（森林整備が行われているが、林内が暗く下層植生が貧弱であるため数年以内に再整備を行うことが望ましい森林）が全体の約 9 割を占め、水源の森林づくり事業などにより森林整備が進んでいることが確認できたが、一方で、めざす姿（林内が明るく、下層植生や土壌の状態も良好な森林）に至るには、今後も、適時に適切な整備を続けていく必要があることが確認された。

## 平成 21 年度人工林現況調査委託業務ランク区分集計表

単位：ha

総合評価	ランク区分						合計
	A	A'	B	C	D	その他	
面積	1,023.64	360.47	26,379.94	677.63	1.27	1,406.84	29,849.79
比率	3.4%	1.2%	88.4%	2.3%	0.0%	4.7%	100.0%

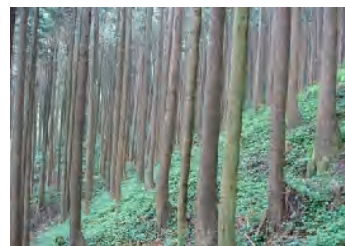
## 総合評価のランク区分

ランク	総合評価
A	林内は明るく、下層植生や土壌の状況も良好な森林
A'	林内は明るいにも関わらず、下層植生が貧弱であることから、シカの影響が大きいと推定される森林
B	林内が暗く下層植生が貧弱であるため、今後の森林整備を検討する必要がある森林
C	土壌流出が見られるため、土壌保全工を含めた森林整備を検討する必要がある森林
D	土壌流出が激しいため、土壌保全工を必須とした森林整備、又は植替え等の対策を検討する必要がある森林

Aランク



Bランク



Cランク



Dランク



森林整備状況

単位: ha

区分	ランク区分						合計
	A	B	C	D	ランク外	その他	
面積	6,447.57	16,034.85	5,496.85	464.95	1,120.72	284.85	29,849.79
比率	21.6%	53.7%	18.4%	1.6%	3.8%	1.0%	100.0%

ランク	整備状況
A	最近、手入れが行われた森林(概ね5年以内に整備されている)
B	手入れの形跡があるが、ここ数年間(概ね5~10年)整備していない森林
C	長期間(概ね10年以上)手入れの形跡がない森林
D	全く手入れが行われた形跡がない森林
外	広葉樹林化が進んでいる森林

光環境状況

単位: ha

区分	ランク区分					合計
	A	B	C	D	その他	
面積	1,865.61	15,923.79	10,331.78	322.65	1,405.96	29,849.79
比率	6.2%	53.3%	34.6%	1.1%	4.7%	100.0%

ランク	光環境状況	
A	隣接する立木の樹冠同士の接触がほとんど無く非常に空いている。	開空度による目安 30%以上
B	隣接する立木の樹冠同士の接触が多少あるが、空いている	開空度による目安 20~30%
C	隣接する立木の樹冠同士の接触が多く、あまり空いていない	開空度による目安 10~20%
D	隣接する立木の樹冠のほとんどが接触しており、うっ閉している	開空度による目安 10%以下

下層植生状況

単位: ha

区分	ランク区分					合計
	A	B	C	D	その他	
面積	1,895.52	21,740.34	4,109.51	698.60	1,405.82	29,849.79
比率	6.4%	72.8%	13.8%	2.3%	4.7%	100.0%

ランク	下層植生の状況	
A	低木類及び草本類、又はササが豊かに繁茂しており、階層構造も発達している。	被度による目安 100%
B	草本類が中心の植生、または、まばらな低木類のみで階層構造が発達していないなど、下層植生としてはやや貧弱である。	被度による目安 50~100%
C	植生はまばらであり、下層植生としては貧弱である。	被度による目安 5~50%
D	下層植生は、ほとんど見られない。	被度による目安 5%以下

土壌状況

単位: ha

区分	ランク区分					合計
	A	B	C	D	その他	
面積	4,698.50	22,709.77	1,033.04	1.64	1,406.84	29,849.79
比率	15.7%	76.1%	3.5%	0.0%	4.7%	100.0%

ランク	土壌の状況
A	土壌は植生や落葉落枝に被覆されており、流出は全く見られない。
B	土壌は完全には被覆されておらず、一部、AO層の流出が見られる。
C	土壌はほとんど被覆されておらず、一部、ガリーや、造林木の根が浮いているところが見られる。
D	ガリーがいたるところで発達し、造林木の根が浮き、倒木が見られる。